

日本スティーベル社製蓄熱式電気暖房器 ETS-T E Jシリーズ

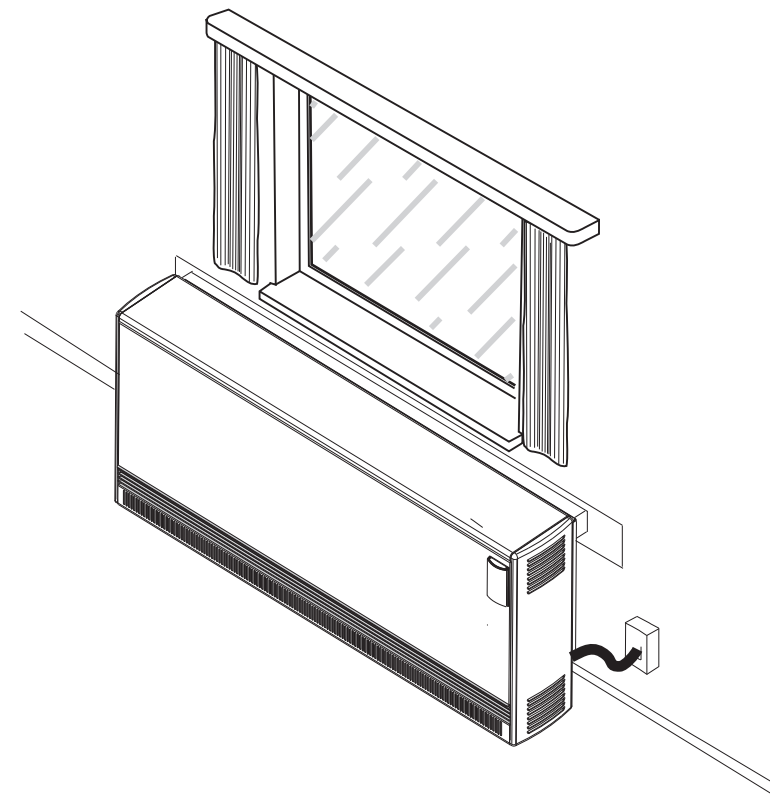
一次側工事要領書

～機器購入を検討しているお客さまへのお願い～

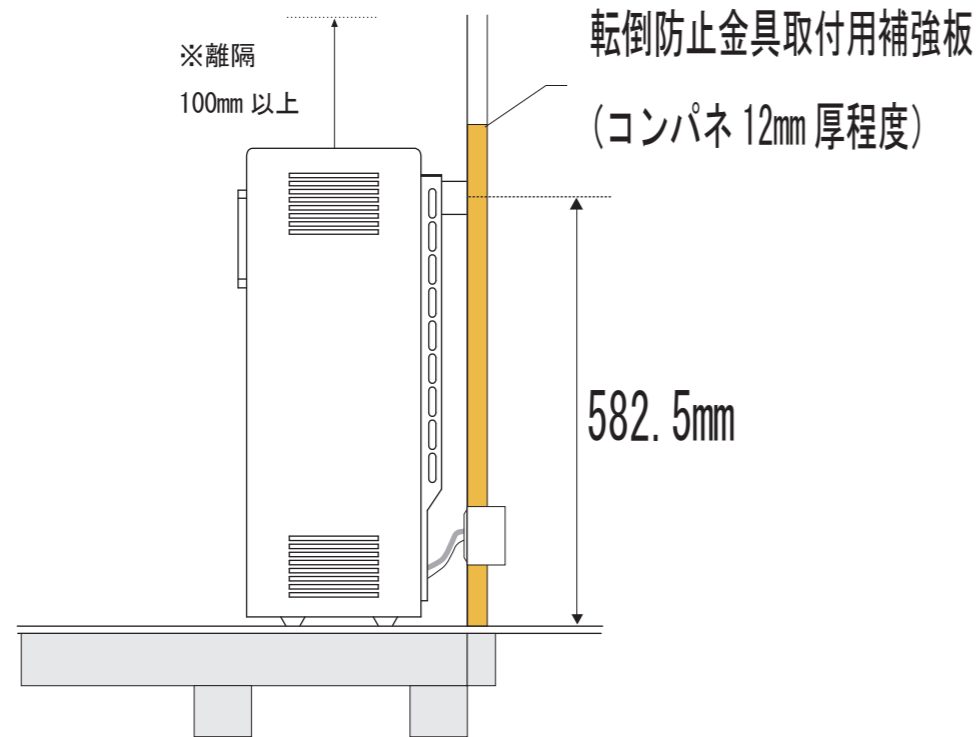
暖房器の設置は以下の工事が完了していることが必須条件となります。
本資料を工事業者さまへお渡し、一次側工事の実施をお願い致します。

◆◆◆目次◆◆◆

1	壁補強の実施	・	・	・	・	・	・	1 ページ
2	床補強の実施	・	・	・	・	・	・	2 ページ
3	電源引き込み工事の実施	・	・	・	・	・	・	2 ページ
4	配線用遮断器の設置	・	・	・	・	・	・	3 ページ
5	屋内配線工事の実施	・	・	・	・	・	・	3 ページ
6	ジョイントボックスの設置	・	・	・	・	・	・	3 ページ
7	シーズンセンサー配線	(シーズンセンサー採用の場合)	・	・	・	・	・	4 ページ
8	最寄りの電力会社への申請	・	・	・	・	・	・	5 ページ
	工事完了チェックシート	・	・	・	・	・	・	5 ページ

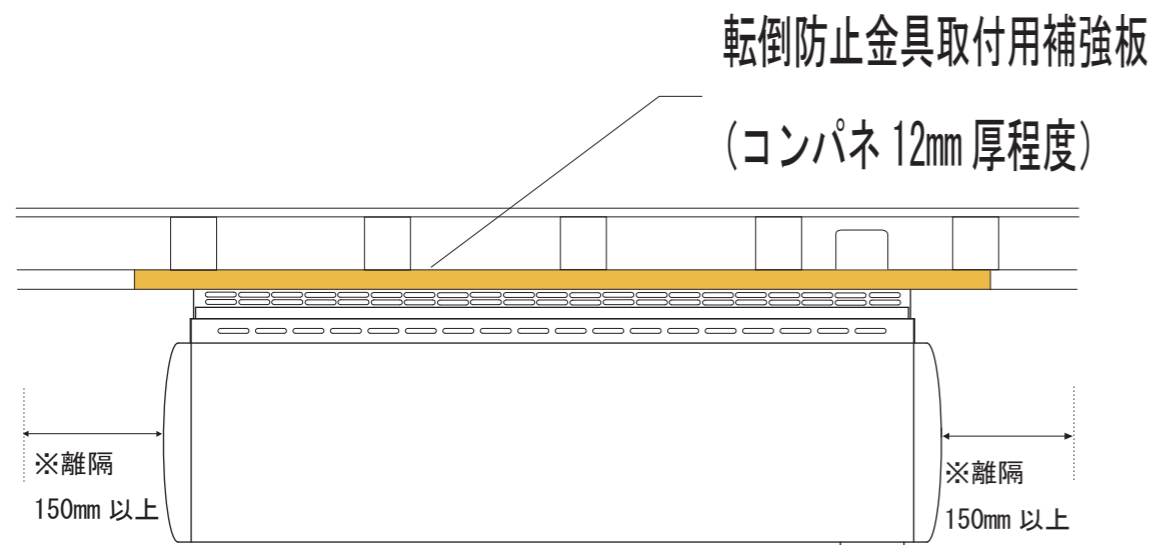


～壁内に補強を行う場合～



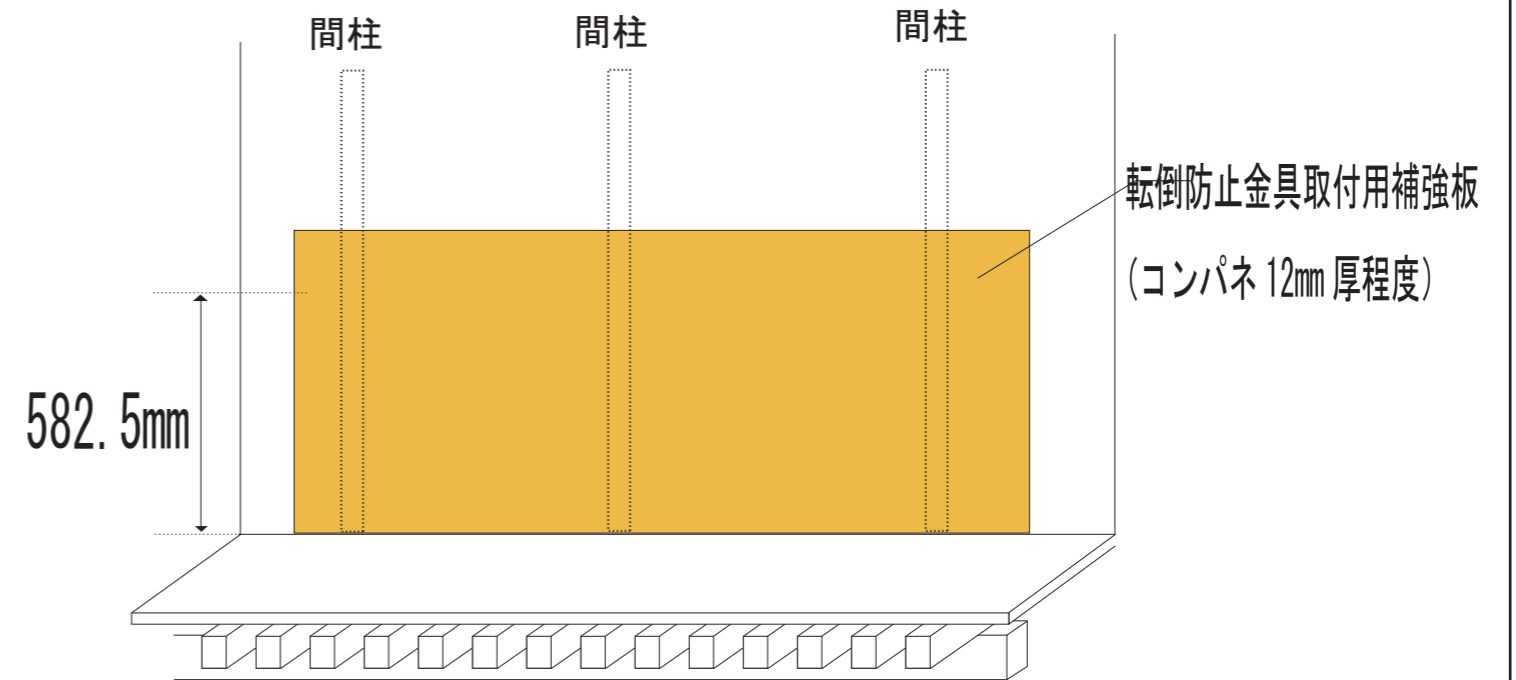
エルサーマット取付断面図

- ・ 柱又は間柱を利用し壁補強を行ってください。
- ・ 補強板の幅は、本体幅と同等以上としてください。



エルサーマット取付平面図

～壁の表面に補強を行う場合～



- ・ 柱又は間柱を利用し壁補強を行ってください。
- ・ 補強板の幅は、本体幅と同等以上としてください。

■本体の幅寸法

型 式	幅
ETS-200TEJ	605mm
ETS-300TEJ	780mm
ETS-400TEJ	955mm
ETS-500TEJ	1130mm
ETS-600TEJ	1305mm
ETS-700TEJ	1480mm

2

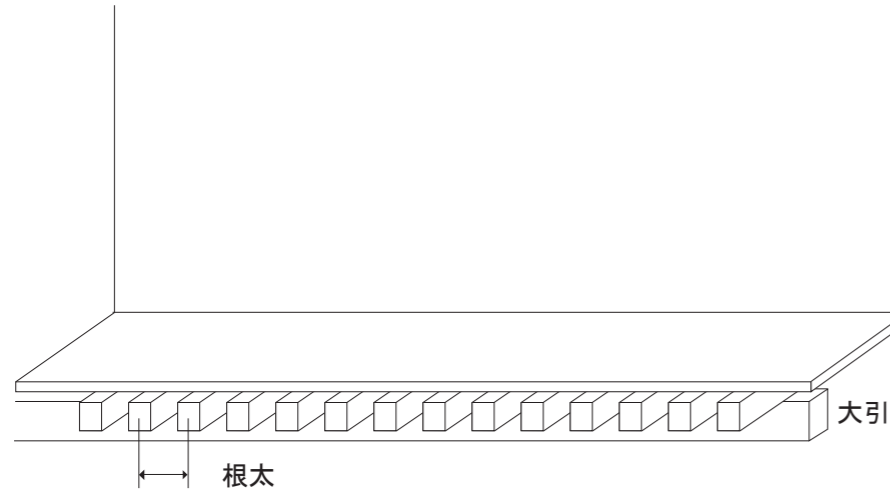
床補強の実施

設置する機器の重量に耐えうる補強を行ってください。

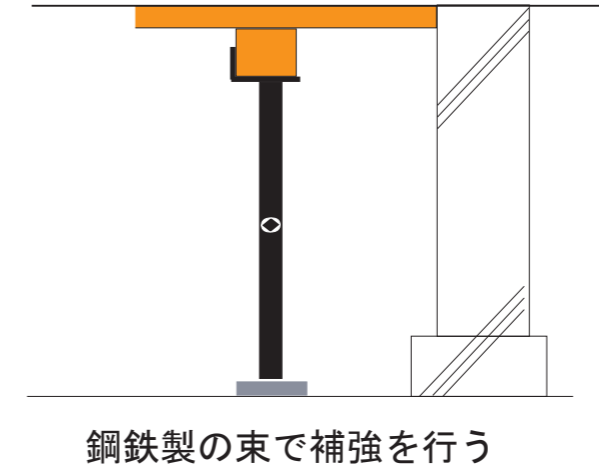
型 式	重 量
ETS-200TEJ	118kg
ETS-300TEJ	169kg
ETS-400TEJ	220kg
ETS-500TEJ	271kg
ETS-600TEJ	322kg
ETS-700TEJ	373kg

方法① 根太の間隔を詰める

建築業者にご確認ください。



方法② 床下に束補強を行う



3

電源引き込み工事の実施

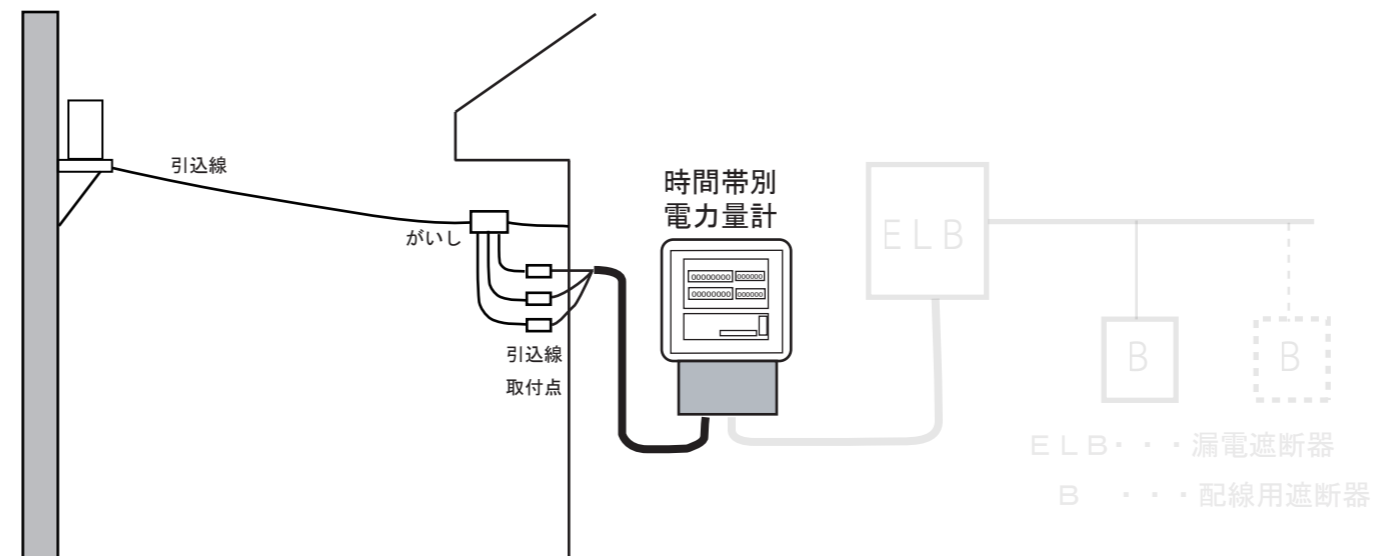
設置する暖房器の電気容量に応じたサイズの深夜電力用電源の引き込み工事を実施します。

電源引き込み工事の依頼は、建築当時の電気工事業者もしくは最寄りの電力会社相談窓口にお問い合わせください。

【一般的な電源引き込み方法】

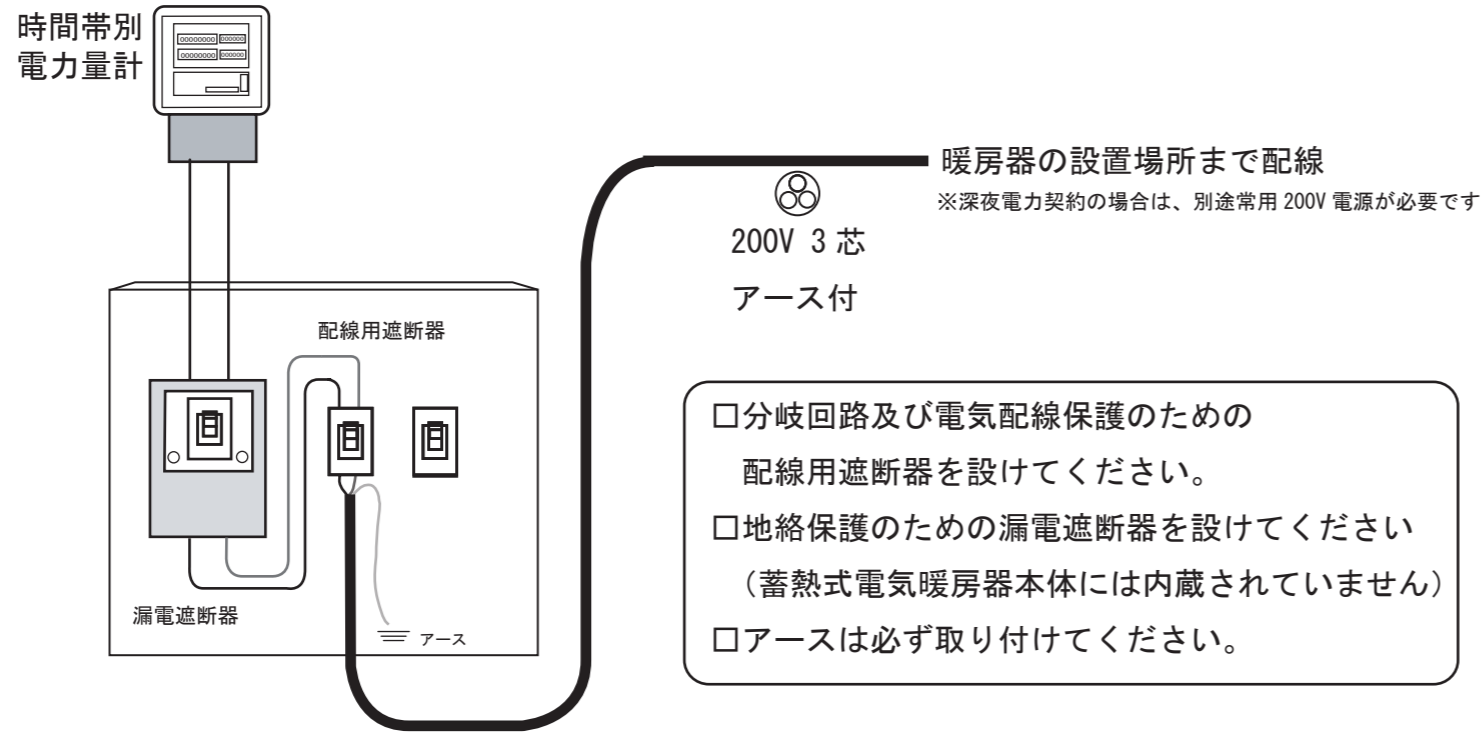
引込線は一般的に軒先などに取り付けられている引込線

取付点までを指します。その先は屋内配線となります。



4 配線用遮断器の設置

内線規定により蓄熱暖房器 1 台につき、1つの配線用遮断器を設置することが義務付けられています。



■配線用遮断器の選定 (単相 200V 用)

型 式	ヒーター容量 kw	配線用遮断器の 定格電流 (A)
ETS-200TEJ	2	15
ETS-300TEJ	3	20
ETS-400TEJ	4	30
ETS-500TEJ	5	40
ETS-600TEJ	6	40
ETS-700TEJ	7	50

「電気設備の技術基準」および「内線規定 (JEAC8001-1995) により施工してください。
蓄熱式電気暖房器に関しては内線規定 629 節「深夜電力機器の施設」に規定されています。

5 屋内配線工事の実施

配線用遮断器から蓄熱暖房器までの配線を行ってください。
住宅の工法に応じて、屋内配線工事を実施してください。
屋外に配線を回す場合は、保護管等を用いて電源線が傷つかないように配慮してください。

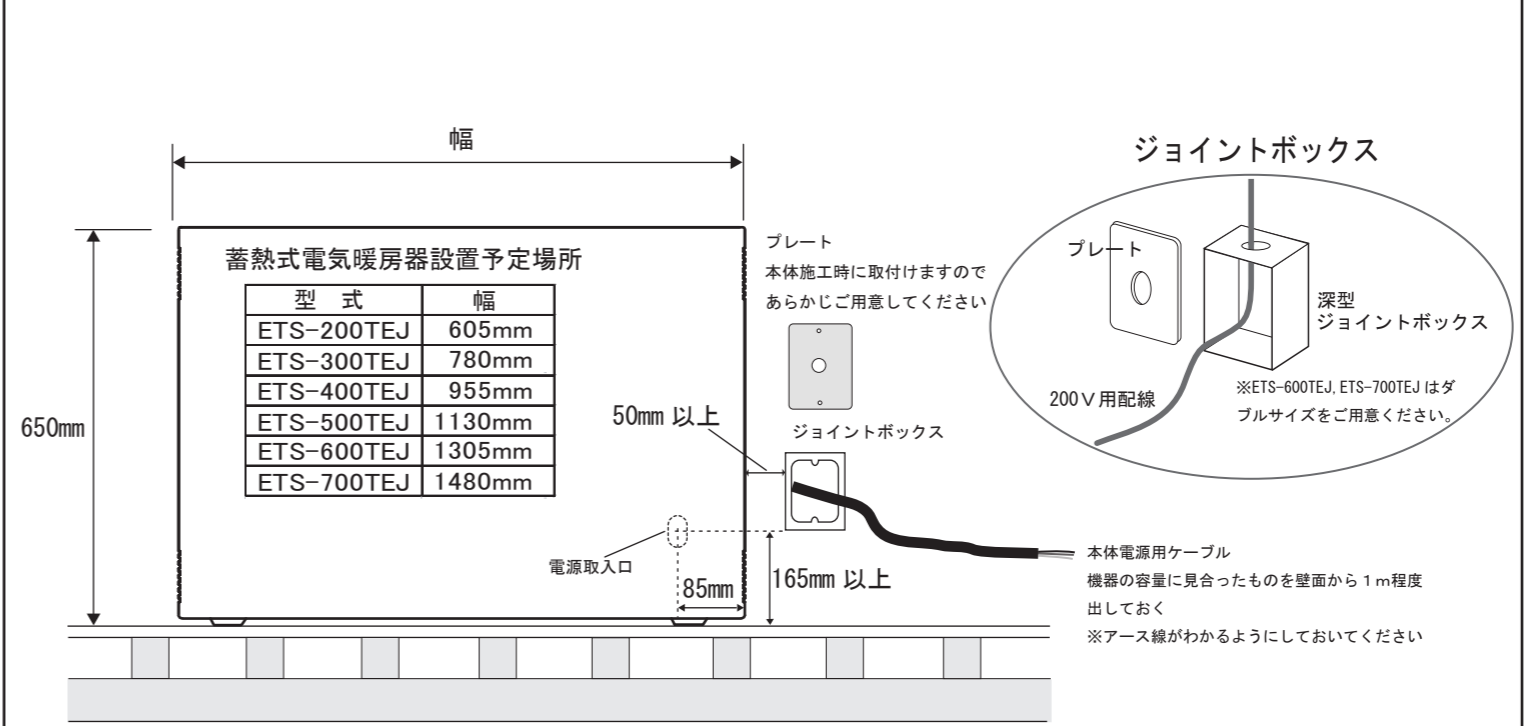
■屋内配線の選定 (単相 200V 用)

型 式	ヒーター容量 kw	分岐回路の最小電線太さ [200V・3芯(アース付)]
ETS-200TEJ	2	直径1.6mm(2SQ)
ETS-300TEJ	3	直径2.0mm(3.5SQ)
ETS-400TEJ	4	直径2.6mm(5.5SQ)
ETS-500TEJ	5	直径3.2mm(8SQ)
ETS-600TEJ	6	直径3.2mm(8SQ)
ETS-700TEJ	7	14SQ

「電気設備の技術基準」および「内線規定 (JEAC8001-1995) により施工してください。
蓄熱式電気暖房器に関しては内線規定 629 節「深夜電力機器の施設」に規定されています。

6 ジョイントボックスの設置

暖房器設置位置の右側にジョイントボックスを用意してください。



シーズンセンサー配線 (シーズンセンサー採用の場合)

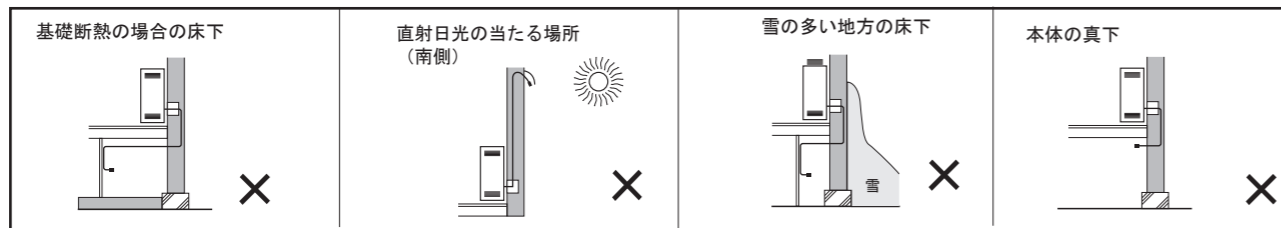
7-1 シーズンセンサーの取付位置

以下の点に留意しシーズンセンサーの取付位置を決定します。

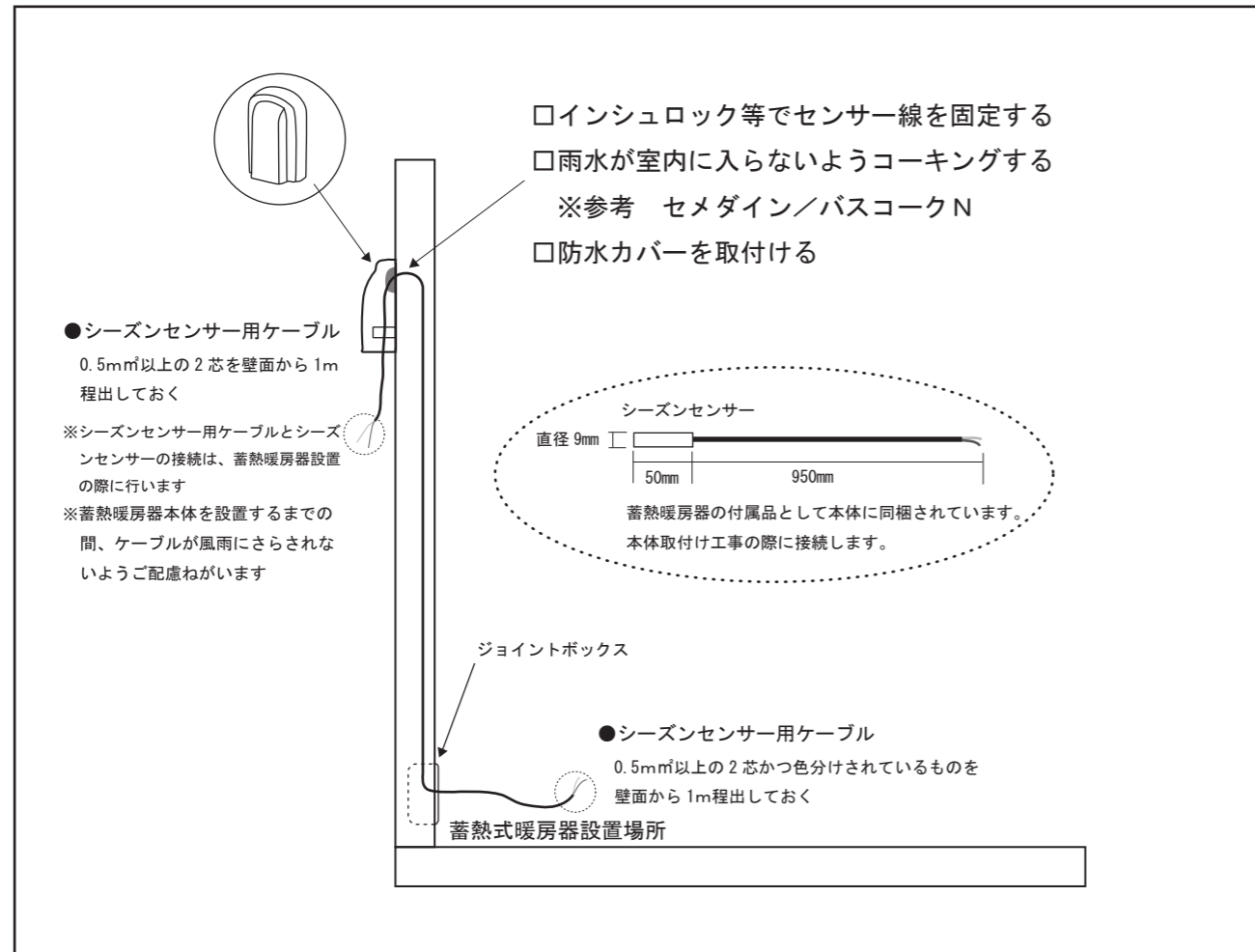
- 直射日光のあたらない外壁 (北面推奨)
- 地面から2m以上の高さのところ
- 住宅の排気等の影響がないところ

※正確な外気温を計測できる位置でなければいけません

以下の場所にはシーズンセンサーを取付けることはできません。



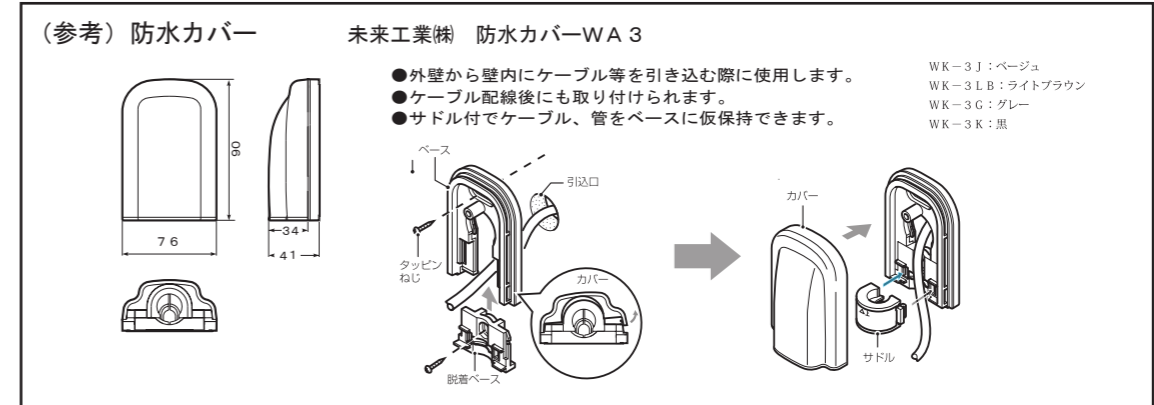
7-2 シーズンセンサーと本体間の配線について



7-3 防水カバーの取付について

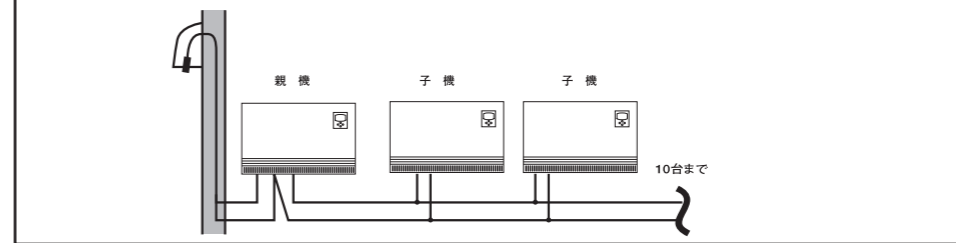
シーズンセンサーに風雨が当たらないよう防水カバーを取り付けます。

※防水カバーは市販品で構いません。(指定品はありません)

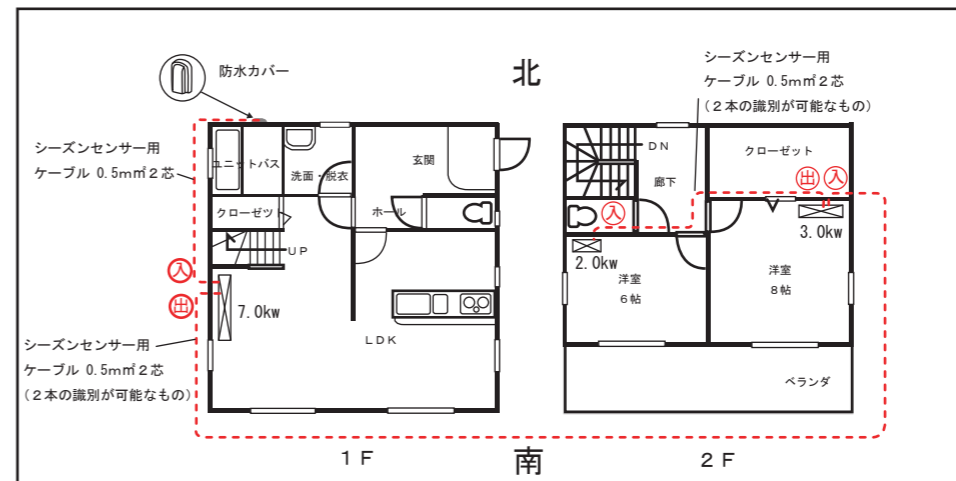


7-4 複数台制御を行う場合

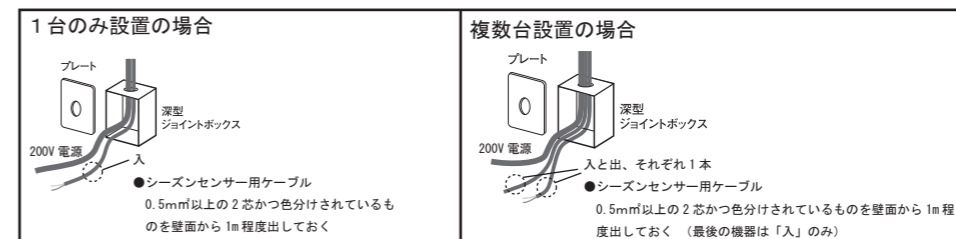
【推奨】暖房シーズンの最後までご使用いただくお部屋の機器を親機にしてください。(親機のブレーカーをOFFするとシーズンセンサー機能が子機へ伝わらなくなるため)



(参考) 3台の蓄熱暖房器を1つのセンサーで制御する場合



(参考) ジョイントボックス



8 最寄りの電力会社への申請

蓄熱暖房器をご利用頂くためには、管轄の電力会社への申請が必要です。
電力会社への届け出が完了していることを電気工事業者様へ確認してください。
(ETS-TEJ シリーズは、時間帯別電灯契約機種です。)

メモ

工事完了チェックシート

チェック項目	
1. 壁補強工事は完了しましたか？	
2. 床補強工事は完了しましたか？	
3. 電源引き込み工事は完了しましたか？	
4. 配線用遮断器の設置は完了しましたか？	
5. 屋内配線工事は完了しましたか？	
6. ジョイントボックスの設置は完了しましたか？	
7. シーズンセンサーの工事は完了しましたか？ <small>※シーズンセンサー採用時のみ</small>	
8. 電力会社への申請は完了していますか？	